

「VFM (Value For Money)に関するガイドライン(平成13年7月27日)の一部改定及びその解説(案)」のポイント

【VFMの本質的な課題の整理】

1. VFMは**効率性の議論**であり、その事業を行うべきか否かの基準ではなく、**PFIで行うべきか否かを判断する基準**であることを再認識すべき。
2. VFMの評価に当たっては、**VFMの源泉は何か**ということを今一度明確に認識し、それらを**どのように向上させていくのか**につき議論すべき。
3. VFMの評価の在り方については、VFMの源泉の評価をPFI事業選定のプロセスの流れの中でとらえ、**段階ごとに順次評価を詳細化することとすべき**であり、このような観点から見たとき、**VFM評価における導入可能性調査の役割は重要**。

VFMガイドライン

(一VFM評価の基本的な考え方
1 VFMとは) **に明文で位置付け**

【実務的な課題の整理】

公共施設等の管理者等から要望が多い、
「**割引率の設定方法**」、「**PSCの算出根拠**」、「**PFI事業のLCCの算出方法**」
について解説。

VFMガイドラインの
解説として整理